

野鳥を観察する際は、次のことに気をつけてください。



野鳥観察はマナーを守って行いましょう。鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察など通常の接し方では、ヒトに感染しないと考えられています。正しい情報に基づいて、冷静に行動しましょう。

注意事項



不必要に野鳥に近づくことは、ストレスを与えることになるので、十分に離れて観察しましょう。



飼っている鳥や野鳥で、死んでいたり、衰弱しているのを見つけた場合は、素手で触らないでください。



野鳥など野生動物の排泄物等に触れた際は、十分に手洗いとうがいをしましょう。



野鳥のフンが靴の裏に付くことで、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがあります。もし、野鳥のフンを踏んだ場合は、念のため靴底を洗いましょう。

お願い



もし、同じ場所でたくさんの野鳥などが死んでいるのを見つけたら、お近くの行政機関または環境省までご連絡ください。



不安に感じた場合には、野鳥については環境省や北海道の振興局環境生活課、人の健康についてはお近くの保健所まで、ご相談ください。

● 環境省へのお問い合わせ先

環境省北海道地方環境事務所

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西2丁目

札幌第1合同庁舎3階

TEL 011-299-1954 (野生生物課)

FAX 011-736-1234

鳥インフルエンザに関するより詳しい情報を知りたい方は、以下のホームページをご覧ください。

http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/



野鳥や鳥インフルエンザの正しい知識を身につけよう!

やちよう 野鳥とのふれあい方について

野鳥は、はなれて観察しよう!



死体やふんにはさわらないで!

守ろうね

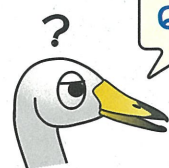


環境省北海道地方環境事務所



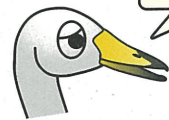
鳥インフルエンザ Q&A

鳥インフルエンザについて学ぼう!



Q. 鳥インフルエンザって何?

A. ニワトリや野鳥が病気になるインフルエンザの一つです。鳥インフルエンザウイルスは野生のカモなどの水鳥のおなか(腸)にいて、普通は病気にはなりません、ニワトリなど他の鳥にうつると病気になります。中には病気にかかった鳥の多くが死んでしまうウイルスもあります(高病原性鳥インフルエンザウイルスといいます)。



Q. 鳥インフルエンザはヒトにうつるの?

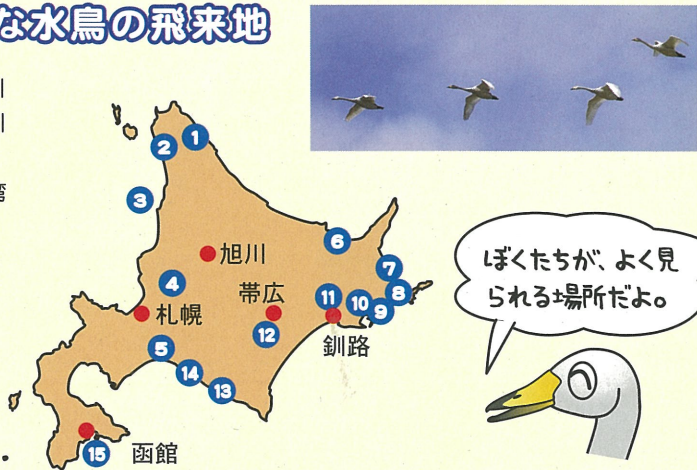
A. 東南アジアなどでまれにうつった例が知られていますが、ヒトからヒトにはうつりません。日本では病気の鳥にふれたり、フンをすいこむようなことはあまりないので、うつる可能性はほとんどないと考えられています。



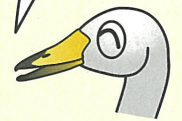
水鳥はどこでよく見られるの?

北海道の代表的な水鳥の飛来地

- 1 クッチャロ湖
- 2 サロベツ原野
- 3 天売島
- 4 宮島沼
- 5 ウトナイ湖
- 6 とうふつ湖
- 7 野付半島
- 8 ふうれん湖
- 9 きりたつぷ湿原
- 10 あつし湖
- 11 くしろ湿原
- 12 帯広川
- 13 静内川
- 14 鶴川
- 15 函館湾

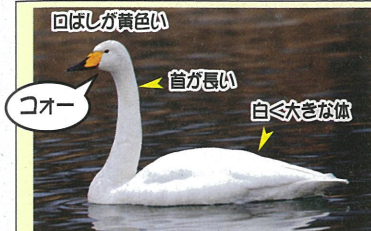


ぼくたちが、よく見られる場所だよ。



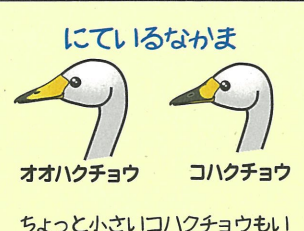
北海道で見られる水鳥ミニ図鑑

北海道の水鳥について学ぼう!



回しが黄色い
首が長い
白く大きな体
コオー

●オオハクチョウ 140cm
大きな白い水鳥。秋に北海道へきて、冬も水面がこおらない所にいる。



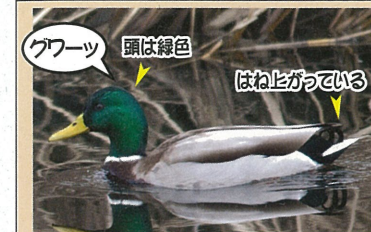
にているなかま
オオハクチョウ コハクチョウ

ちょっと小さいコハクチョウもいるよ! くちばしのもようをよく見くらべてみよう。



回しがオレンジ色
キヤハハハ
こげ茶色の体に白い線

●マガン 72cm
もっとも多いガンのなかま。シベリアで子育て。ヒシクイは口ばしが黒い。



グワーツ 頭は緑色
はねとがっている

●マガモ 59cm
よく川などで見かけるカモ。一年中いて、水草などを食べている。



にているなかま
マガモ・オス マガモ・メス

マガモのメスは頭が茶色い。カルガモはオスとメスがにている、くちばしの先が黄色い。



こげ茶色の頭(オス)
ホロツボロツ
尾が長い

●オナガガモ 75cm(オス) 53cm(メス)
ハクチョウなどとともに来て、冬の間湖や川ですぐすカモ。オスは尾が長い。



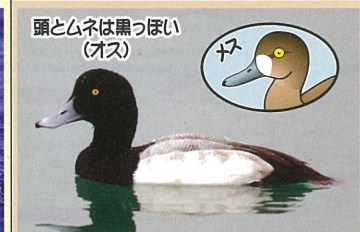
キリキリ 小さな丸い体

●カイツブリ 26cm
小さな水鳥で、頭は黒と赤色。もぐって小魚などを食べる。水面にすをつくる。



頭は緑色(オス)
体は細長い

●カワアイサ 65cm
体と口ばしが細長いカモ。もぐって魚を食べる。メスは頭が茶色い。



頭とムネは黒っぽい(オス)

●スズガモ 45cm
わたりのときに立ちよるが、夏や冬にいても。水ぞいの貝などを食べる。



くちばしは黄色、赤いもよう
黒っぽい
足はピンク色

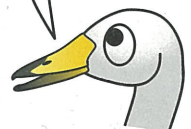
●オオセグロカモメ 64cm
もっともよく見るカモメ。海岸に集まって子育てをする。ウミネコは足が黄色い。



グワツ
長い毛
首が長い
灰色の大きな体

●アオサギ 93cm
大きなサギで、魚やカエルを食べる。木の上に集まって子育てをする。

よく見られるぼくたちのなかまだよ。いろんな鳥がいるね。



●の色は北海道で主に見られる季節です。●:一年中(留鳥) ●:春から秋(夏鳥) ●:秋から春(冬鳥) ●:秋と春(旅鳥)